

パシヤリ。広大



学内の案内板(写真は中央図書館前)

東広島キャンパスのいたるところに設置されている案内板。モノトーンの角柱は、広いキャンパス内で迷った時の道しるべとなります。

標高200mを超える盆地のため、ぐつと冷え込む東広島の冬。霜が降りる朝には、地図が描かれたガラスに、美しい結晶が現れます。普段風景に溶け込んでいる案内板が、冬にだけ見せる表情です。冬に広島大学を訪れた際は、ぜひ学内を散策して探してみてください。



100年後にも世界で光り輝く大学へ
広島大学



編集・発行：広島大学 財務・総務室 広報部 広報グループ
〒739-8511 東広島市鏡山1-3-2 TEL:082-424-4383 FAX:082-424-6040
E-mail: koho@office.hiroshima-u.ac.jp
<https://www.hiroshima-u.ac.jp>



H-plus

January 01
2020

広島大学広報誌 vol.11
Hiroshima University Magazine



[学長対談]
一度きりの人生。自分の好きなことを追いつける。
京都大学 特別教授 広島大学 学長

本庶 佑氏×越智 光夫

[特集]
感性でつなぐ、広大アート

平和の大学にふさわしいイノベーションも次々に

2019年12月、東広島キャンパスの中央図書館前に「福山通運 小丸賑わいパビリオン」がオープンしました。福山通運株式会社、公益財団法人渋谷育英会ならびにヤマネホールディングス株式会社にご支援・ご協力をいただいたものです。その一角には、起業を目指して学生が活動する「ファーストベンギンクラブ」の拠点があります。ぜひ、多くの皆さんに利用してほしいと思います。体育系のクラブに入りながら顔を出すのも、大歓迎だと思います。

新しいアイデアは、ずっと考え続けなければ思い付かない。常々、私はそう考えています。学生の時代から、クリエイティブなことをやっていく訓練をした方がいいと思っています。いつも「なぜ？」という問いを繰り返していけば、必ず新しいアイデアが生まれてきます。

広島大学が10月に設置したオープンイノベーション事業本部には、統括クリエイティブ・マネージャーを置き、知財部門も充実させています。そこで、自分のアイデアを知財に結び付けるように連携を取るトレーニングもできます。

人類の発明や発見に対して特許を押さえるべきか否か、いろいろな考え方があります。とはいえ、世界に通用するような科学技術は特許を押さえておかないと、結局、他の国に奪われ、自分自身も使えなくなる可能性もあります。

私自身にも苦い経験があります。私は、膝の靭帯再建手術に使うある医療器具を考案しました。この20年近く、毎年70～80億円規模で世界中に販売されています。しかし、その時に特許について深く考えなかったため、後からイギリスに特許を押さえられてしまいました。せっかく新たな技術を開発しても、特許を持っていなければ、日本国が他国に使用料を支払う羽目になり、本来は国の収入となるべきものが支出に転じます。

9月9日、10日の2日間、メキシコシティで開催された第4回日墨学長会議の冒頭でスピーチをいたしました。続いて登壇したCONACYT（メキシコ国家科学技術審議会）のGeneral DirectorであるMaría Elena Álvarez-Buylla 博士が「メキシコ人は日本のイノベーションからの恩恵を受けてきました。今後はメキシコからも日本の人たちに使ってもらえるようなイノベーションを興していきたい」との言葉を聞いて、「日本は尊敬されている国である」と言ってくれているようで、私は少し胸が熱くなりました。

もちろんイノベーションには両面性があり、軍事に転用される危険性もはらんでいますが、それは必ず人間がコントロールできるはずで。このマインドを持って、広島大学は「平和の大学」にふさわしいイノベーションを次々に興していきたいと願っています。

越智 光夫

May Hiroshima University continue to live up to its name as “the University of Peace” with a string of innovations

In December 2019, our Higashi-Hiroshima Campus saw the opening of the “Fukuyama-Tsuun-Komaru *Nigiwai* Pavillion”(**nigiwai* is a Japanese word, which literally means 'bustle') in front of the Central library. The construction of the pavillion was sponsored by Fukuyama Transporting Co. Ltd., The Shibuya Ikueikai Foundation and Yamane Holdings Co. Ltd., respectively. In one of the corners of the pavillion lies the “1st Penguin Club” office, which is a base for students who are keen to start a business. I would very much like this office to be used by as many HU students as possible. So, while continuing your activities at any given sports-related club at HU, you are also very welcome to join the 1st Penguin Club.

“A new idea only comes to a person who is always thinking about it” is what I have always thought. In that sense, I think that it is a good idea to start training your mind in your student days by doing something creative. If you make it a habit to always ask yourself “why?”, you will be able to come up with new ideas.

HU has now appointed an Executive Creative Manager to the headquarters of the Open Innovation Center, which was established this October. It has an excellent Intellectual Property Division, where you can learn how to collaborate with the relevant parties, in order to claim intellectual property for your ideas.

When we ask ourselves whether or not we should be patenting inventions or discoveries that can benefit mankind, each of us may have different answers to this question. Be that as it may, if you have come up with a world-class invention, you are well advised to have it patented. Otherwise, you may possibly suffer the following consequences: i) someone else from another country may patent your invention instead, and ii) you may no longer be able to use the technology without paying for it.

Indeed, first-hand experience has taught me just how important this is. Years ago, I invented a medical device to be used for knee ligament reconstruction surgery. In the last 20 years, the device in question has been sold and used worldwide, with an annual trade turnover amounting to between 7 and 8 billion yen. As I did not give too much thought to having my invention patented, someone else from the UK went ahead and did so. The takeaway warning from this story is that even if someone has invented a new technology, without a patent, royalties will potentially have to be paid by the true inventor to the patent holder. In this case, what would have been a source of revenue becomes one of expenditure.

On 9th and 10th September 2019, the 4th Japan-Mexico Rectors Summit was held in Mexico City, at the start of which I delivered a speech. Following my speech, Dr. María Elena Álvarez-Buylla, General Director of CONACYT (acronym in Spanish, meaning “National Council of Science and Technology” in English), delivered her speech in which she said the following: “Mexican people have long benefited from Japanese innovations. From now on, Mexico intends to generate innovations which can be accepted and used by the people of Japan.” I was moved by her words, because she seemed to be saying that Japan is a respected country.

It goes without saying that innovations have their pros and cons, and there is an element of danger in that some innovations can be diverted to military use. However, human beings should be able to control such risks. May Hiroshima University continue to live up to its name as “the University of Peace” with a string of innovations.

May 2020



完成した「福山通運 小丸賑わいパビリオン」の前で

あなたにプラス あなたとプラス



Hiroshima University Magazine
広島大学広報誌 HU-plus (エイチュー・プラス) vol.11

【Hiroshima University】の魅力や情報をあなたに“プラス(+)", 【HU】とあなたが“つながる(+)"という願いを込めて。

今月の特集「広大アート」で紹介する作品群の一部。見る距離、角度によって、さまざまな印象が現れます。一体どのような“作品”なのでしょう。ぜひ誌面をのぞいてお確かめください。

CONTENTS

- 01 散詩語録
- 03 学長対談
京都大学 特別教授 本庶 佑氏×
広島大学 学長 越智 光夫
- 07 特集 感性でつなぐ、広大アート
- 11 学問の探求
中井 智司 教授 大学院工学研究科
作野 裕司 准教授 大学院工学研究科
- 13 AERAが書く、研究者の素顔
鈴木 由美子 教授 大学院教育学研究科
- 15 チーム広大潜入REPORT
久保田 啓一 研究室 大学院文学研究科
宮下 美香 研究室 大学院医系科学研究科
- 17 ぶちおもしろい広大講義
vol.3 色彩学演習
- 18 世界へのまなざし
小黒 照平 さん 生物生産学部 / MORAI Mamotjoka Joyce さん 大学院国際協力研究科
- 19 学生レポ! 私も広大です
岡村 清治 さん 広島市副市長 / 大内田 美沙紀 さん 科学イラストレーター
- 21 キャンパスNOW
キャンパスでできる国際交流
- 22 HIRO-DAI HEROES
冠野 雅人 さん 工学部 / 播磨 チツ子 さん 大学院総合科学研究科
- 23 HU-style
vol.11 オープンキャンパスで200人に聞きました!!
- 25 HU TOPICS
- 27 つながる! ひろがる! ひろしまの輪
地域の元気応援プロジェクト
学校心理教育支援室「にこにこルーム」(大学院教育学研究科 附属教育実践総合センター)
- 28 Reader's View / 読者プレゼント
- 29 広島大学への寄附・基金

広島大学SNS



広島大学 (Hiroshima University)



@Hiroshima_Univ



広島大学入試



広大PV



インスタグラムで
キャンパスの日常を
配信中





好奇心と探究心は 大切な資質

京都大学 特別教授
本庶 佑

ほんじょ・たすく／1942年生まれ。京都で生まれ、高校卒業までを山口県で過ごす。京都大学大学院医学研究科修了。カーネギー研究所客員研究員、アメリカ国立衛生研究所国立小児保健発達研究所客員研究員、東京大学医学部助手、大阪大学医学部教授、京都大学医学部教授などを経て2017年より同大学高等研究院特別教授。2018年より同副院長。2018年ノーベル生理学・医学賞を受賞。

2018年ノーベル生理学・医学賞受賞者・本庶佑氏と語る

興味に基づいて掘り下げる

越智：本日はお忙しい中、広島大学の大学院統合生命科学研究科と大学院医系科学研究科の設置記念講演会にお越しいただき、ありがとうございます。先生の生い立ちやどのように研究への道を志されたのかなどをお聞きできればと思います。

本庶：生まれは京都ですが、山口大学医学部の教授だった父の仕事の都合で小学校から高校卒業まで山口県宇部市で過ごしました。

越智：先生はどのようなお子さんだったのでしょうか。

本庶：とても品行方正とは言えない、やんちゃな子どもでした。担任の先生からすれ



「獲得免疫の驚くべき幸運」をテーマに、学生たちに講演

ば、なかなか言うことをきかない、扱いにくい子どもだったはずですよ。

越智：子どものころに、なりたかった職業などありますか。

本庶：小学校の夏休みに理科の先生が校庭に移動式の天体望遠鏡を持ってきて、土星を見せてくれたんです。その時、土星のリングがきれいに見えたことにとても感動して、宇宙の果てには何があるのかと興味を持ちました。自分で宇宙関連の本なども読み、天文学者になりたいと考えていました。

越智：そのころに影響を受けた方はいらっしゃいますか。

本庶：伝記が好きでした。野口英世の伝記を読んだことは、医学部を目指すきっかけの一つになっています。

越智：医学部を目指すための勉強は、いつこ



京都大学医学部入学の頃（1960年4月）

ろからされていたのですか。

本庶：高校に入るくらいから、真面目に勉強するようになりました。自分の興味に基づいて教科書よりどんどん先を自分のスタイルで、という感じの勉強方法でした。

越智：それで京都大学医学部へ進まれたんですね。京都大学を選んだのは、お父様の勧めでもあるのでしょうか。

本庶：父は僕が忸度できない人間だということを見抜いていたのでしょう。「好きなことを思う存分やるなら京大がいい」とアドバイスしてくれました。また「これからは英語ができないとだめだろう」ということで、中学生からハワイ出身の日系人のネイティブスピーカーに英語を習っていました。その後のあらゆる場面で英語の心配をせずに済んでいるのは、父のおかげだと感謝しています。

広島大学 学長
越智 光夫

おち・みつお／1952年生まれ。愛媛県今治市出身。広島大学医学部卒業後、整形外科に入局。1995年島根医科大学教授に就任。2002年広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授に就任。2007年～2011年まで広島大学病院長。2015年紫綬褒章を受章。

一度きりの人生。自分の好きなことを追い、続ける。

京都大学 特別教授

広島大学 学長

本庶 佑氏 × **越智 光夫**

広島大学の大学院統合生命科学研究科、大学院医系科学研究科の設置記念講演でご登壇いただいた本庶佑氏と越智光夫学長が対談。

2018年にノーベル生理学・医学賞を受賞されるまで研究において切り開いてきた道、そして研究者として大切にされていることなどを伺いました。



まだ分からないものにこそ、
投資が必要



医学部で基礎研究の道へ

越智：京都大学医学部に入學されてからは、どのような学生生活を送られていたのですか。

本庶：最初のうちは本当にいろいろなことをやりましたね。オーケストラでフルートを吹いてみたり、朝までマージャンをしたり――。

越智：そんな中、基礎研究の道へと進まれたのは、どんなきっかけがあったのでしょうか。

本庶：医学部の同期生に、基礎研究に興味のある学生が5、6人いて、彼らと「教授に飯を食べさせてもらう会」というのを作りました。基礎研究をしている先生たちにコンタクトを取って「先生の研究について、飯を食いながら話を聞きたい」と連絡すると先生が自宅に招いてくれるんです。脳神経解剖学の

平澤興先生や解剖学の西村秀雄先生の話
を聞くうちに、研究をやりたいと思うよう
になりました。

越智：私も恩師の自宅を訪ねたことがあ
るで、その場面に目に浮かんでくるよう
です。分子生物学との出会いはどのよう
なきっかけだったのですか。

本席：形を見てどうこうというよりも、
分子を研究した方が本質に迫れるだろ
うという直感もありましたし、分子生物
学の研究が治療につながっていくの
ではないかという思いも、おぼろげな
がらありました。2年生になると早石修
先生の研究室に入出入りするようにな
り、3年生になるころには基礎研究者
としてやっていこうと決めていました。

遺伝子のメカニズム解明に向けた挑戦

本席：博士課程に進み、西塚泰美先生
の指導を受けた際には、研究テーマを
自分で考えるチャンスをいただきました。
その時取り組んだのが、ジフテリア毒
素がタンパク質合成を阻害するメカニ
ズムを分子レベルで明らかにすること
でした。

越智：その時の論文が評価されてアメ
リカの大学へ行かれたんですね。カー
ネギー研究所、NIH（アメリカ国立衛
生研究所）でさらに分子生物学の研究
を深め、日本に戻られますが、アメリカ
には何年ほどいらっしゃった



アメリカ留学時代の恩師 ドナルド・ブラウン氏と議論

のですか。

本席：4年弱です。日本に戻り、最初
は東京大学医学部で真野嘉長先生の助
手を務めました。そこで先生に「質の高
い研究をしてくれれば、何をテーマに
研究してもいい」と言われ、本当に好
きな研究をさせていただきました。幸
運だったと思っています。

越智：1979年、37歳の時に大阪大
学医学部教授として独立した研究室を
持たれたわけですが、その時にはやり
たいことが明確にあったのでしょうか。

本席：遺伝子の構造をもっと深く知
りたい、DNA上で何が起きているか
そのメカニズムを紐解きたいと、とに
かく知りたいことが非常に明確で目
標もはっきりしていました。モチベー
ションの塊で、データを見ながら、毎
日若い研究者たちとのディスカッショ
ンの繰り返しでした。

越智：その研究への高いモチベーショ
ンは、どのように生まれ、維持されてい
るのでしょうか。

本席：「知りたい」という欲求である
「好奇心」と「探究心」ですね。研究
者にとっては大切な資質だと考えてい
ます。

これから研究者になる人へ

越智：2018年のノーベル生理学・医
学賞の受賞理由は「免疫抑制の阻害に
よるがん治療法の発見」の成果とい
うことでした。「PD-1」という免疫
を抑制するタンパク質は、日本人の2
人に1人が罹患すると言われていて
がんの治療に画期的な道を切り開き
ました。「PD-1」の発見は先生の研
究の中で、必然だったのでしょうか。

本席：基本的な命題としてあったの
は、遺伝子の再構成の仕組みをもっと
掘り下げるとともに、新たな免疫の仕
組みを知りたいということ。そこでた
またま引掛かってきたのが



「何が大切な課題であるか、何が一番知りたいかを自分で見つけることが大事である」と学生たちにエールを送った

「PD-1」でした。その発見はセレン
ディビティ（幸運な偶然）だと捉えて
います。研究も人生も、僕はラッキー
の連続の上にいると思っています。

越智：分らなかったものが徐々につな
がって新たなものが見えてくる。それ
こそが、研究の醍醐味でもありますね。
目に見えているものの、すぐに実りの
ありそうな研究に注目や予算が集まり
やすいですが、分からないものにこそ
、投資が必要ですね。

本席：もちろんです。それこそが将来
、未来への投資になるはず。医学はま
だまだ分からないことが多いので、基
礎研究でさまざまな試みが必要だとい
う現実を、広く知ってほしいと思っ
ています。

越智：今回の大学院再編では、異なる
領域の研究・教育を融合し、社会に求
められる人材を育成できる環境づく
りに取り組みしました。研究室同士の
交流を積極的に行えるようにすること
で、新たな視点を獲得するチャンスに
もなりうると考えています。

本席：研究者が自主性に基づいて研
究を進められるような環境が整って
いくことを期待したいですね。

越智：先生は、研究者にとって大切
なものとして「6つのC」Curiosity
（好奇心）、Courage（勇気）、Chal
lenge（挑戦）、

Confidence（確信）、Concentration
（集中）、Continuation（継続）を
挙げられていますね。

本席：まず、好奇心がないと研究者
には向いていないのでやめた方がい
いと、新入生歓迎会などでもよく話
しています。そしてそれに向かって勇
気を持って挑戦する。ここまでが研
究者に欠かせない3つのC。そして、
やる以上は集中してかつ継続する。続
けるうちに自信が出てきたら、しめた
ものです。

越智：先生が座右の銘とされている
「有志竟成」にはどのような思いが込
められていますか。

本席：中国の歴史書に由来する言葉
なのですが、「志を曲げることなく堅
持していけば、必ず成し遂げられる」
という意味があります。自分が何を
知りたいのかを明確にして粘り強く
続けていけば、必ずたどり着くとい
うのが僕の考え。志をはっきりさせ
ることも重要だと思っています。

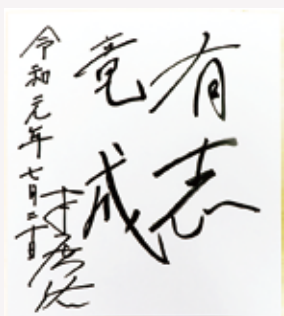
越智：どこに向かって努力するのか、
それを明確にしないと遠回りになっ
たり、迷ったりしてしまいます。最後
に高校生や大学生、これから研究
者になるうとする人へメッセージを
お願いします。

本席：研究者を志す人が減っている
現状は残念ですね。研究とは、好
奇心に基づいて「知りたい」を突き
詰めていくこと。一度きりの人生、
自分の好きなことを追いつけるのも
楽しいものです。ぜひ、研究者を志
す人が増えてくれたらうれしいです
ね。

越智：その通りだと思います。大学
としても多くの人が研究を続けられ
る環境を整えていけるように努力し
ていきます。本日は貴重なお話を
ありがとうございました。



京都大学へ移る。教室の若い人たちと（1985年）



本席氏の座右の銘「有志竟成」が書かれた色紙。今回の講演会に際して、特別に書いていただいた

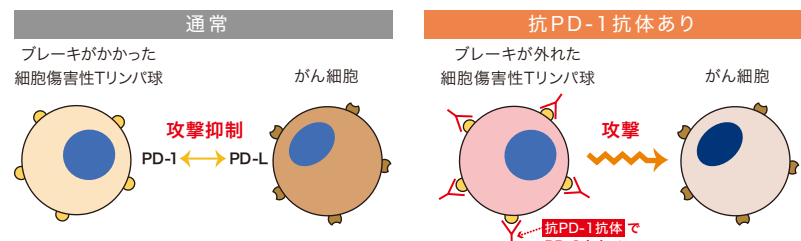
ノーベル生理学・医学賞を受賞した「がん免疫療法」

私たちの体は、体内に微生物やウイルスなどの外来的異物が侵入すると、異物を攻撃して排除する仕組みを持っています。「免疫応答」と呼ばれるこの仕組みは、外来性の異物だけでなく、ウイルスに感染した細胞やがん細胞などの、内在性の細胞を攻撃することもできます。がん免疫療法は、これを利用した治療法です。

しかし、免疫応答には、自己免疫疾患などが起こらないようにする、抑制の反応もあります。本席博士は、Tリンパ球の表面にPD-1という抑制に働く分子があることを発見し、がん細胞を攻撃するTリンパ球のPD-1が、がん細胞のPD-L(PD-1の受容体)と結合すると、Tリンパ球の働きに「ブレーキ」が掛かってしまう事を明らかにしました。

本席博士たちが開発した新しいがん免疫療法は、がん患者さんに抗PD-1抗体を投与し、PD-1に「蓋をする」ことで、がん患者さんが持っている本来のTリンパ球の働きを本来の攻撃できる状態に戻す方法です。「アクセル」を踏み込むことに主眼を置いていた従来の免疫療法に対し、「ブレーキ」を外すという全く新しい考え方の治療方法と言えます。

現在、日本では悪性黒色腫、非小細胞肺がん、腎細胞がん、ホジキンリンパ腫、頭頸部がん、胃がん、悪性胸膜中皮腫が、保険適用になっています。



解説：大学院統合生命科学研究所 免疫生物学 教授 古澤修一

研究者にとって大切な6つのC

- Curiosity (好奇心)
- Courage (勇気)
- Challenge (挑戦)
- Confidence (確信)
- Concentration (集中)
- Continuation (継続)

絵画 Painting

『月光流砂らくだ行』の緞帳
(平山郁夫／サタケメモリアルホール)



画家による絵画群。都市や建物、砂漠や空の風景。これらの画面構成は、どこことなく形と色のレベルで自然界の岩石の肌理(きめ)、フラクタルな数学図形と似ていないか。ルネサンスの万能の天才レオナルド・ダ・ヴィンチも、まず自然から学んだ。



『その日全てが集う』★
コンヴェルサーノ(イタリア)
(藪野健 日本藝術院会員／法人本部棟2階 玄関ホール)



『弥生土器』★
[東広島キャンパス鏡西谷遺跡で出土]
(総合博物館)

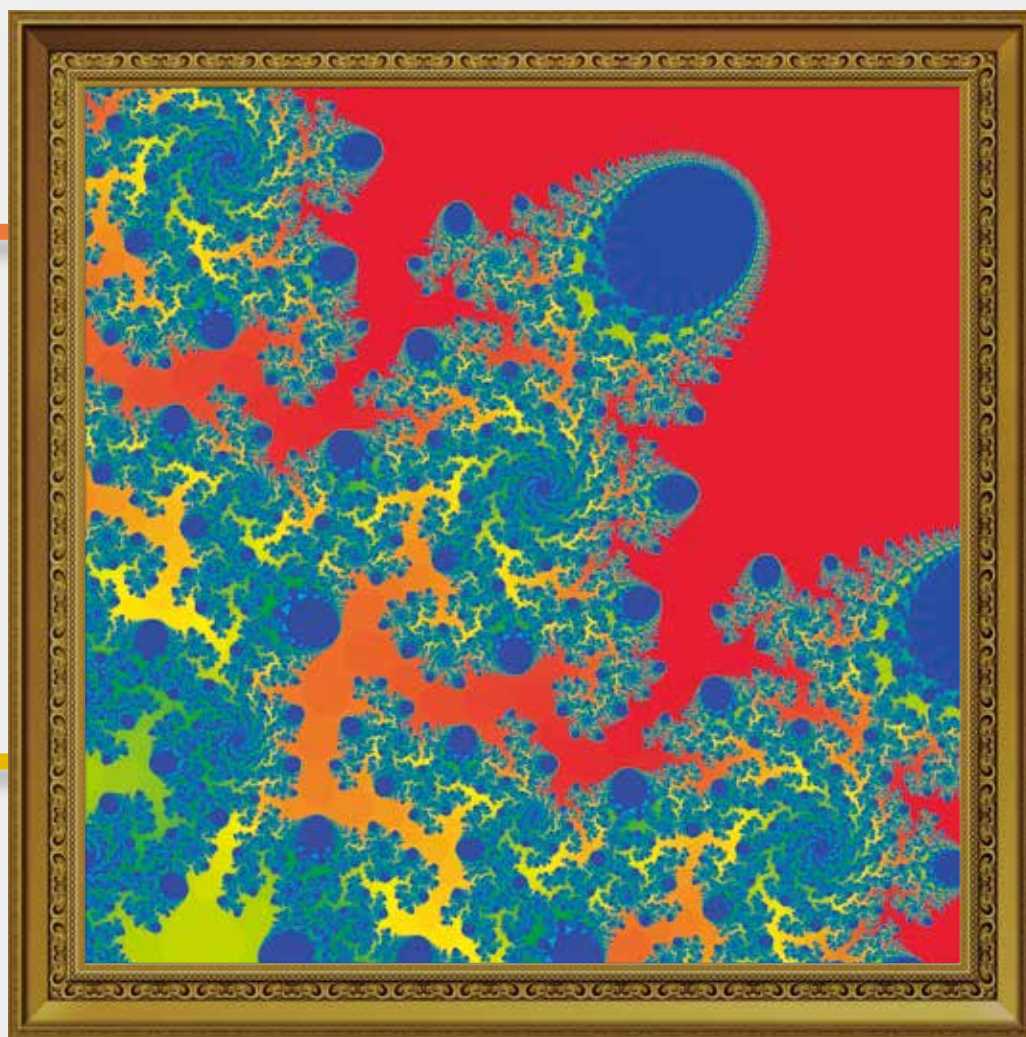


『碧釉稜壺』
(木村芳郎／中央図書館)

『径(こみち)』の陶板★
(小倉遊亀／広島大学病院診療棟
エントランスホール)



『カスバ(アルジェリア)』★
(難波平人 広島大学名誉教授／法人本部棟2階 玄関ホール)



感性でつなぐ、 広大アート

広島大学が所蔵する美術作品と、教育・研究に関するさまざまなモノをアートの視点から紹介します。(★は一般公開)

コンピュータによる
『複素関数で描いた絵』
(吉野正史 教授／理学研究科 数理解析講座)

アートをはみだすモノも「額縁」に入れ、芸術作品に見立てました。広島大学にあるさまざまな知の財産を、超時空的感性でつなげ「空想美術館」を開いたわけです。アートマップの中心に置かれているのは、コンピュータによる『複素関数で描いた絵』。「絵画」の画面構成となんら変わりませんよね。「自然」の鉱物や動植物が持つ紋様・形態の妙とも呼応するでしょう。「陶芸」も土や石の化学変化の産物です。「渦」は時空を超え、過去と未来の人々をつなぎます。遺物の凝視、あるいは、展示というアート化によってしか、原爆の実相は理解できないはず。「平和」のかたちを問うこともまた射程に入っています。

大学院総合科学研究科(美学・芸術学)

桑島 秀樹 教授



骨格模型『身幹儀(星野木骨)』★
(医学資料館)〈国の重要文化財〉



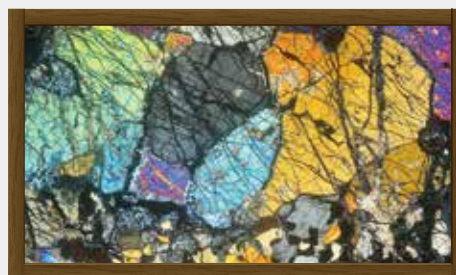
4,000点を超える『海藻標本』
(田中博 広島大学修士(農学)／竹原ステーション)



写真は「ユカリ」。広島県の厳島で採集。

自然 Nature

偏光顕微鏡で観察した『カンラン岩*の薄片』
(教育学研究科)



※地球のマントルを構成する岩石。

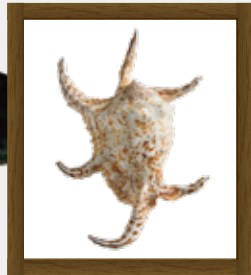
鉱物・海藻・骨格の標本群。「遊び」の美学者カイヨワは、石目も抽象絵画も同じ原理によると言った。アナロジーに基づく形態学。こうした類似を探すモノの見方は原初的な思考だが、「近代」を再考し未来を開く21世紀的思考かもしれない。

『オオサンショウウオ骨格標本』
(総合博物館)





広島市東区の貝塚から出土。その形状から魂を引っ掛ける(=命を守る)ものとして盾などに装着されていたと考えられている。



「水」という字に見えるのと名がついた「水字貝(すいじがい)」。現在も九州や沖縄で魔除けとして用いられている。

『巴形銅器』★[弥生時代 後期]
(文学研究科2階 展示スペース)

巴形呪具、プロペラ。渦巻は、超時空的な運動の象徴だ。生と死、過去・現在・未来の異世界をつなぐ(ここでは、特集ページの時空もまたいでいる!)。巴形呪具は、南洋の水字貝を模し、魔除けだった。プロペラは、技術革新の結晶で、人類に未知のスピード体験をもたらした。

渦 Spiral



『船用プロペラ』★
(工学研究科 船型試験水槽棟前)

平和 Peace



被爆壁面、被爆建物モデル、慰霊碑など。血のついた被爆タイル壁。われわれはこれを額縁の中、凝視せねばなるまい。残虐性を美化するためではない。原爆投下という事態を深く理解するために。被爆学舎のガラス模型も、美しいだけに、その意味を問い返してこよう。

広島文理科大学(現・広島大学)
『被爆タイル』★
(法人本部棟2階 情報広報室)



前身の広島師範学校の被爆した体育館の遺構材をオブジェに。

『あの日』
(杉谷富代／※8月6日頃展示)



原爆死没者追悼の碑★
(佐藤重夫(元工学部教授)／東千田キャンパス)



『翔の響』★(旧学校教育学部美術研究室／教育学研究科L棟ロビー壁面) 平和の象徴「鳩」を先頭に全国から集う広大生の姿を47都道府県の鳥で表現。

Art な人々

自分ならではのリアリティを作品に込める



ひとくわだ とおる
一 鉦田 徹 教授

大学院教育学研究科
造形芸術教育学講座
専門:彫刻



霞キャンパス・大学病院入口にある
『FOUR SEASONS TREE』の制作時模型

「自分」がリアルに感じたことを作品制作の出発点にする。これが私のこだわりです。自分の身の上起きた事象を表現していくことを大切にしています。今から約20年前、親しくしていた叔母が亡くなった時に作品制作の大きなテーマが見えてきました。病室で喪失感に打ちひしがれていた私の耳に、隣の中学校から元気な子どもたちの声が届いたのです。隣り合わせにある生と死。その二つの存在を強く実感したことがきっかけとなり、以来、「生と死のリアリティー」をテーマに作品をつくり続けています。2007年には同様のテーマで、被爆建物である広島市の本川小学校平和資料館にて個展「ヒロシマのピエタ展」を開催しました。

そのほか自己表現だけでなく、公共の場でのパブリックアートや、病院に展示するホスピタルアートなども制作。アートができることは何か、自分の発想や技術で社会にどのように貢献できるのかを考えて作品づくりをしています。

広島大学にゆかりのある主な作品は、大学病院の『FOUR SEASONS TREE』や、医学資料館に展示している『過去と未来に思いをはせるための椅子』、附属三原学校園の100周年を記念した『永遠の庭』など。『FOUR SEASONS TREE』は広島市の四季を味わえるステンドグラスの

被爆建物(本川小学校)で行った個展
「ヒロシマのピエタ展」より
彫刻『さつきの魂』



ような作品です。四季を感じにくい病院でも、患者さんや病院スタッフなど多くの方々に昼も夜も楽しんでいただけるように、最適なデザインを追求しました。光の当て方や設置の仕方の工夫次第で空間を演出できる楽しさが彫刻の魅力。自分が納得できる作品づくりとアートを通じた社会貢献を今後も続けていきたいと思っています。



型破りなパフォーマンスを墨と筆で



書道部

活動頻度:週2回(水・土)
主な活動場所:
サークル棟1階創作室
主な発表イベントなど:
ゆかたまつり、大学祭など
代表:
帯包采夢(おびかみ あやめ)さん

これまでの書道のイメージを覆すダイナミックなパフォーマンスで、観る人に「筆を持ってみたい」と感じてもらえたら。そんな思いで日々作品づくりに向かっています。主な発表の場は、夏の「ゆかたまつり」と秋の「大学祭」。今年のゆかたまつりでは、「かぐや姫」をテーマに「これまでにない書道パフォーマンスをしよう」と演出を練りました。そこで出たアイデアが、竹の絵が描かれた紙を突き破って、かぐや姫が作品から飛び出すというもの。実現のために、紙やパネルにさまざまな工夫を施しました。当日は来場者の方々から歓声が上がリ、好評だったと聞いて感無量でした。大

学祭では「自分を漢字一文字で表すなら?」という全体テーマのもと、部員それぞれが作品を展示。一般の方向けに体験コーナーも設置し、書道の楽しさを感じていただくことができました。今後は、学内にとどまらず、企業のパーティーや老人ホームなど、学外でもパフォーマンスを披露する機会をつくり、書道の魅力を届けたいと思います。



プラスチックごみ問題 どう立ち向かう？

学問の探求

教授が答える、
社会の“？”

身近な疑問を、異なる専門分野の研究者視点で解説！
今回は世界でも問題となっているプラスチックごみへの対策に迫ります。

「化学工学」 から

吸着した化学物質の「環境運命」を解き明かす

大学院工学研究科 化学工学講座
中井 智司 教授
専門分野：環境化学工学

なかい・さとし／主な研究内容は、
水環境の修復・創出や排水の処理・再利用など。



海岸に漂着した発泡スチロールやプラスチック片（鹿児島県にて中井教授撮影）

世界の海を漂う 無数のマイクロプラスチック

今年の夏に大阪で開かれたG20サミットでは、「マイクロプラスチック*問題」が主要テーマに挙がりました。現在、世界では年間数百万トンを超えるプラスチックごみが海洋に流出し、地球環境や生態系に影響を及ぼしています。マイクロプラスチックによる海洋生物への被害のメカニズムは主に二つあります。一つはプラスチックが異物として生物体内に入り、消化管の機能を物理的に損なうこと。もう一つは海水中の有害物質がマイクロプラスチックに吸着し、それを取り込んだ生物の体内で脱着して障害を起こすことです。この有害物質は食物連鎖の中で徐々に濃縮されていきます。

化学物質の変容を 正確に捉える

プラスチックに吸着した有害物質の濃度は吸着と脱着、生成と分解によって変化していきます。紫外線によって光分解を起こすこともあれば、プラスチックの成分と化学反応を起こして新たな化合物を生成することもあるか

らです。プラスチックに吸着している物質が変質すれば、水への溶けやすさなどから脱着する可能性もあります。このような「環境運命」に注目し、私はその中でも分解の仕組みについて研究しています。

海洋に漂うマイクロプラスチックに吸着した化学物質の挙動を正しく捉えるためには、徐々に実際の環境に近づける段階的な実験が必要です。初歩的な実験では、劣化前のプラスチックの上に化学物質の溶液を垂らして化学物質を吸着させ、紫外線を照射した後、光分解の速度や分解後にどのような化学物質が残るかを調べます。化学反応を起こしにくいとされるガラスで同様の実験を行えば、結果を比較することでプラスチック特有の分解を検出できます。ただし、これは実際の環境

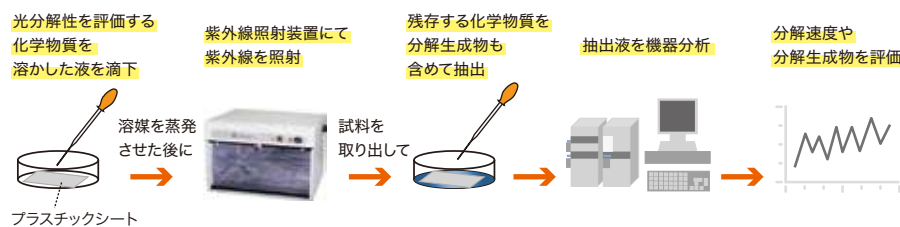
とは程遠く、ここからさらに紫外線を太陽光に近づけたり、劣化させたプラスチックを使用したりして、一つ一つの条件を調整していきます。また、プラスチックには塩化ビニールやポリエチレンなどの種類があり、それぞれ構成している元素が違います。そのため、実験に使用するプラスチックによって結果が異なると予想されます。分解が促進され、結果的に有害物質の濃度が低くなるプラスチックもあれば、吸着した物質とは別に新たな有害物質が生成されるプラスチックもあるかもしれません。現在は、この種類ごとの特性について解明を続けています。

科学技術で 貢献できることは多い

研究が進み、プラスチックに吸着した化学物質の環境運命が明らかになれば、今後は生物へのリスクアセスメント（リスクの評価）を行う研究につながると期待しています。プラスチックごみ問題を解決するには、プラスチックを使わない、ごみとして出さないのが一番の近道ですが、環境にやさしい代替素材の開発など、科学技術が貢献できることもたくさんあります。地球規模の環境問題が深刻化する中で、プラスチックについての研究は今後ますます加速していくでしょう。

*大きさ5mm以下のプラスチック

主な実験の手順



「海洋工学」 から

人工衛星から海洋や湖沼のごみを見える化する

大学院工学研究科 輸送・環境システム講座
作野 裕司 准教授
専門分野：リモートセンシング

さくの・ゆうじ／主な研究内容は、
リモートセンシングによる海洋・湖沼の水質モニタリングや藻場・珊瑚礁の簡易底質マッピングシステムの開発など。



西日本豪雨後の衛星画像。矢印の先に木くずが集積（赤い部分）

観測した水の色から 汚染状況を推定する

私の研究分野は「衛星水色リモートセンシング」であり、人工衛星などから観測した「水の色」から水域の環境を解析することを目的としています。これまで、水域の環境調査には船を使うのが一般的でした。しかし、船だけでは広い水域の調査に限界が生じるため、最近では人工衛星や飛行機、ドローンなどを利用した「水色リモートセンシング」という技術が注目を集めています。リモートセンシングとは、対象物に触れずに離れたところからその形状や性質を観測する技術のことで、対象物から放射される電磁波や太陽光による反射によって測定が行われます。

衛星水色リモートセンシングの技術を利用すれば、濃い緑色をした水は植物プランクトンが多く、水が茶色がかっていれば土砂が多いなどという判定が可能になります。その判定を定量的に行うことによって、海洋や湖沼の汚染状況を把握し、対策が必要な地域の特定や漁業資源の管理などに役立てます。また、植物プランクトンの量は海のCO₂の吸収量と密接な

関係があるので、地球全体のCO₂の収支を見積もる地球温暖化の研究にも大きく貢献しています。

近赤外線の利用で プラスチックの識別も可能に

レジ袋やペットボトルに代表されるように、身近なプラスチックの多くは透明もしくは半透明です。そのため、通常のデジタルカメラのような衛星センサーで写真を撮影してもプラスチックを検出できません。しかし、私たちの目に見えない近赤外線における特定の波長には、プラスチック特有の光吸収が見られるため、これを利用すればプラスチックごみの検出が理論上可能になります。そこから私たちは実際の海岸や衛星データで検証を重ね、リモートセンシングによるプラスチックごみ検出の有効性を見出しました。また、プラスチックはポリエチレンやポリス



通常のデジタルカメラ(左)と近赤外線カメラ(右)で撮影

チレンなどの種類によって光の吸収率が違うため、近赤外線カメラで撮影すると、見た目では分からないプラスチックの種類識別もできます。海岸でのごみの調査はいまだに人の手で行われていますが、この技術を応用すれば効率的な調査法が確立できるのではと期待しています。

実態を可視化して 環境問題を身近に考えてもらう

昨年の西日本豪雨の際、衛星画像の分析から、川から大量の土砂が流れ出ている様子や海の潮目に木くずがたまっていることが判明しました。それがきっかけで、現在は衛星画像を利用した海洋ごみの検出にも取り組んでいます。細かいごみの検出は解像度などの技術的な課題がありますが、ある程度量が多いものであれば衛星画像から探査が可能です。



ドミニカ共和国オサマ川周辺のごみ

近年プラスチックをはじめとしたごみが海を漂い、地球環境に悪影響を及ぼしていることが問題視されています。海外には、東南アジアやアフリカなど、日本に住む私たちには信じられないほど大量のごみ問題に悩む地域がたくさんあります。今後の目標はリモートセンシングの技術を応用した、精度の高いごみの分布図の作成です。世界のごみ問題の実態を可視化することで、人々に関心や危機感を持ってもらい、環境問題に少しでも貢献したいと考えています。

AERAが書く、研究者の素顔

研究者は普段どのような一日を送り、研究に取り組んでいるのか。その学問への出会いのきっかけや、探究の原動力は何だったのか。人物、スポーツ、文化、政治、経済、事件…幅広いジャンルを取材するAERA記者が研究者の素顔に迫ります。

〔AERA〕
「時代」をキーワードに独自の切り口で描くニュース週刊誌。国内外の重大ニュースから身の回りの小さな出来事まで「時代」を敏感にキャッチし、独自の視点で掘り下げた記事をお届けしています。

鈴木教授に訊く!!!

- Q1 研究者を志したきっかけは？
- Q2 尊敬する人は？
- Q3 研究で心掛けていることは？

大学院教育学研究科

鈴木由美子教授

教育学の研究は
子どもたちの未来に
つながっている



附属中学校・高等学校の校長室で

不平等をなくすために 人間教育、道徳教育を研究

「大学時代のある時『私って変わっているんだ!』と気付いたんです。今はもう、自分が変わっているってよく分かってますけど(笑)」

教育学(道徳教育)研究の道にたどり着いた経緯を尋ねると、そんな返事が返ってきた。周りの友達が「学校の先生になりたい」と大学に通うなか、自分は教員になりたいわけではないと感じていたという。

中学生の時、住む町が大きな水害に見舞われた。同級生の友人は勉強をしたくても働か

ざるを得なくなり、高校進学をあきらめた。

「なんて不平等な世の中なんだろう」

法律で平等は保障されているはずなのに、法律だけでは人間は平等になれない。その時「教育が大事だ」と思った。教育を学ぶなら、教育学で有名な広島大学に、と進学した。

ペスタロッチーを知らずして 教育を語るなかれ

大学で言われたのが「ペスタロッチーを知らずして教育を語るなかれ」。ペスタロッチーは、スイスの教育家・教育思想家で、民衆教育の父と呼ばれる。貧しい子どもたちにも平等に生きる権利があり、そのためには教育を受ける必要性があると説いている。

「私がやりたいのは、これだと思いました。平等な世の中にするにはどうしたらいいか、ペスタロッチーを研究することにしたのです。自分は研究者になりたいのだとうすうす感じ始めていた頃で、そんな私を受け入れてくれたのが、教育学教室の藤井敏彦教授でした」

藤井教授は鈴木教授が「恩師」と呼ぶ存在だ。当時、女性が修士課程に進むことも珍しい時代。理解ある藤井教授のもとで、ペスタロッチー研究に打ち込んだ。

道徳教育は、価値観に基づいて判断し行動する力を育成すること。「人は何を大事にして

生きれば、幸せなのか?」というテーマを鈴木教授は、国際的な視点で捉える。

オーストラリアでの先行研究を参考に、各年代に共通する価値観を34項目から選んでもらう調査を日本で行った。その結果、どの年代でも共通するものは、思いやり、平和(仲良し)、生命尊重と分かった。オーストラリアと比較すると、国ごとの価値観の違いだけでなく、共通点も見えてきた。「他の国とも比較して、世界共通の価値観が見つければ、それを各国で教えることで平和な世界を実現できると思うんです」。鈴木教授は、世界に共通する価値観「コモンバリューズ」を探る。

子どもの顔を見て 実践に生きる理論を研究

教育学の「理論」と教育現場での「実践」は、どんな関係なのだろうか。

「日本では、理論と実践を分けて考えられることが多いのですが、私はそれらの区別はなく、二つは融合しているものだと思っています」

鈴木教授が確立した理論を、現場の教員が実践。授業を見学して子どもたちの反応を確認したり、教員と議論したりしながら、実践に生きる理論へとブラッシュアップしていく。「子どもたちの顔を見ながら研究できることが楽しい」と鈴木教授は話す。

2019年4月に、広島大学附属中学校・高等学校の初の女性校長に就任した。生徒たちと接し、彼らがいかに感情豊かに成長しているかを日々実感している。

「道徳の授業では、子どもたちの純粋な心に教員側が教えられます。知識を教える他の教科とは違って、人間が生きるための考え方を子どもたちと一緒に考えて、一人一人の良さを伸ばしていく時間。価値観を押し付けるのではなく、多様性を受け入れる教員の柔軟性や寛容の精神が必要です」

研究者として心掛けていることは、「素直」と「不動心」。毎日「今日も素直でいよう」と自分に言い聞かせる。教育学の研究は子どもたちの未来につながっている。そう信じて、苦しい時も乗り越えてきた。周りとの違いを受け入れ、自分らしさも大切にする「素直さ」。それが、鈴木教授の研究を支えている。

取材・文／
アエラムック編集部 次長 杉村 健



藤井敏彦教授を囲む同窓会。前列右から3番目が藤井教授、向かって左隣が鈴木教授



広島市立牛田小学校での校内研修の様子。理論を伝え、状況に応じて変えていってもら

What do you like?

大のカープファンの鈴木教授。前田智徳(ともり)選手の引退した年から飼い始めたウサギは「とも」ちゃんと名付けられています。



ウサギのともちゃん

team
05



原本から読み説く近松ワールド
江戸文学の背景に迫る

学問分野: 人文学/文学/日本文学
キーワード: 近世和歌、江戸狂歌、幕臣文壇
人数: 学部生8人、大学院生4人、教員1人



当研究室の先輩
小説家・小山田 浩子さん
(著書『穴』で第150回芥川賞受賞)



大学院文学研究科 日本文学語学分野

久保田 啓一 (くぼた けいいち) 研究室

先輩から後輩へ受け継ぐ息の長い研究

考え抜いて生まれる新たな解釈が、物語の可能性を広げる

学部3年生から大学院の博士課程後期生までが参加し、近世日本文学の輪読会を行う久保田ゼミ。現在扱っている作品は、江戸時代の浄瑠璃・歌舞伎作家、近松門左衛門の『酒呑童子枕言葉』だ。未だ注釈がつけられていない本作を正しく理解するには、一語一句を吟味し、慎重に読み進める必要がある。ゼミでは学生が分担して原本のくずし字を解説し、近松の他作品も参照しながら語釈と現代語訳を進めている。難易度が高い作業ではあるが、自分で考えて文献を読むという行為が、将来に生きる経験になるというのが久保田教授の考えだ。

先入観を持たない学生の解釈によって、作品の意味がつかめる場面もある。活字本では単純接続「て」として示されている部分を学生が打ち消しの意味「で」だと気付いたことで、文脈が正しく読めるようになった。こうした発見は、学部生・院生に関係なく、徹底的に一つの文章を考え抜くことによって可能になる。

精密な解説作業を行うには、長い歳月が必要だ。一作品を読み終えるまでにゼミ生の世代

が変わり、最長で7～8年かかることもあるが、その分達成感は大い。初めて輪読会に参加する3年生には、最初にそれまでゼミの先輩が行ってきた解釈の結果や研究内容を紹介。長年の研究を受け継ぐことで、バトンを渡された学生が自らの解釈の重要性を実感しながら学ぶことができるのもこのゼミの魅力だ。

高校までは詳しく習う機会がない近世文学に挑む学生には、自分なりの問題意識を持ち、その答えを求めて研究に取り組む人が多い。物語内の母と娘の関係性や遊女たちの実生活についてなど、卒業研究のテーマは多種多様だが、今まで学生が提示した研究内容が却下されたことは一度もないという。「特に制限を設けず、自らの興味関心の追究を第一に指導している。一見奇抜なテーマでも、他作品との共通性や、設定に見られる当時の趣向などを考察していくうちに、時代背景が分かってくる。現代とは全く異なる時代の様子をそれぞれの方法で研究してもらうのが、ゼミの本旨だ」と久保田教授は醍醐味を語る。



大学院医系科学研究科 保健学分野

宮下 美香 (みやした みか) 研究室

がん治療による認知機能障害をトレーニングで改善

日米共同研究で、エビデンスを積み重ねる

日本人の死因第一位である、がん。一般的に知られていないが、化学療法によるがん治療は、軽い物忘れ程度の認知機能障害を引き起こすことが分かっている。がん看護を専門とする宮下教授の研究室は、がん治療によって低下した認知機能を改善するために「運動」に着目。日米で共同研究を行っている。

研究に使うのは、ペダルとタブレット端末を用いたオリジナルトレーニング装置。ペダルをこぎながらゲームをすることで、記憶力や計算力を鍛えられる。運動による血流上昇と、ゲームを組み合わせることにより、脳が活性化するという原理に基づく。認知症の高齢者向けに開発されたトレーニング装置のアレンジだ。同時に複数の作業に取り組むので認知機能のさ

らなる強化も期待されている。

研究室では、化学療法を受けた患者さんに協力を要請。トレーニング前後で認知機能が向上したかどうか検証している。まだ参加者の数は少ないが、体験した人には「頭がすっきりした」と好評だ。「手軽なので、自宅でもトレーニングしてもらえ。ゆくゆくは商品化につながるかもしれません」と宮下教授は意気込む。

「今後は日米でデータを集め、比較する予定。文化的背景の違いが効果の出方に表れると考えています。この分野の第一人者である米国の研究者の先生方と、連携しながら検証していきたい」

このほかにも研究室では認知症を持つ高齢者の家族のケアや症状評価の尺度開発など、

team
06

患者さんのQOL※
がん看護の専門性を生かす
向上を目指し、

さまざまな研究を行っている。メンバーそれぞれが関心に応じて自由なテーマに取り組んでいるが「患者さん、ご家族の最良の生活を支える看護の開発」という研究理念は一貫している。教授はコミュニケーションを大切にし、メンバーの自律的な研究活動を支援している。

研究室はがん看護専門看護師コースを担当する。「学生同士の議論は学びを深めてくれます。志を同じくする仲間と学び、支え合うことは、将来臨床で専門看護師として働く上でも、自身の実践力向上につながるはず」。研究室の目標は、各人が研究を論文化し、優れた看護実践者を育成すること。地道に成果を積み重ね、大規模な研究に取り組む力を蓄えていく。

※QOL
(Quality of Life)
治療や療養生活を送る患者さんの身体的、精神的、社会的、スピリチュアル、全てを含めた生活の質を意味する。



ペダルを使ったトレーニングの様子

DATA

学問分野: 老年・がん看護開発学/看護学/臨床看護学

キーワード: がん、リハビリ、看護

人数: 学部生6人、大学院生4人、教員3人

その他連携機関: 熊本大学、カンザス大学、パーカーアドベンティスト病院、インディアナ大学

【ぶち】 おもしろい 広大講義

学生がおすすめする広島大学の
「ぶち」おもしろ講義を各回ご紹介
します。

vol.03

色彩学演習

開講部局：教育学部
科目区分：専門教育



担当教員：八木 健太郎 准教授
(大学院教育学研究科
造形芸術教育学講座)

専門分野：デザイン学

Student's Voice!

色を見て元気になったり心地良
かったり。この感覚は「理論」に裏
付けられていることが分かりました。
身の回りの色を見る時に、理由や
効果を考えるようになりました。

教育学部 3年 堀家 実悠希 さん



特別な人の、特別な技術じゃない！ 生活を豊かにする知恵としての「デザイン」

デザインと聞くと「難しそう」「センスがないとできない」と思う方も多いのではないのでしょうか。しかし、「デザインは勉強したら誰でもできるようになります。デザインを理解していると日々のさまざまな場面で役立ちますし、一部の人の特別なものではありません」と「色彩学演習」を担当する八木健太郎准教授は言います。目標は、色彩の基本知識を身に付け、デザインに应用する力を養うこと。教育学部造形芸術系コースだけでなく、総合科学部や文学部など他学部の学生も多く履修しています。美術の勉強をしていない学生でも、一定レベルのデザインができるようになることを目指しています。

講義では、体験しながら学びを深める形を重視。教科書は使わず、進行用のスライドとスケッチブック、絵の具、色紙などを教材として進めていきます。スライドでは作業工程を丁寧に説明していくため、専門知識を持っていなくても戸惑うことはありません。説明に沿って自分で手を動かしながら、色彩イメージや配色に関する知識を自然に身に付けていけるようになっています。色見本を片手に、学内の建物の色を見て回ることもあります。ハイライトとなる最終課題は「商品企画における色彩戦略のプレゼンテーション」。商品のターゲットや利用シーンを設定し、色彩を活用した広告イメージを提案する課題です。配色の理由やコンセプトについても問われ、講義の集大成と言えます。発表用資料を作る中で「自分でデザインできた」という感覚が得られ、非常に達成感があると好評です。

デザインのエバンジェリスト(伝道師)を志す八木准教授は「デザインは生活を豊かにする知恵である」と語ります。例えば色彩についての知識は、ファッションやインテリアのコーディネートにも応用が可能です。日常に彩りを加えてくれる「色彩学演習」の学び。デザインが持つさまざまな可能性に気付かされる講義です。



色の特性を学ぶために、自分で色相環を描く。



発表用資料には、学生のアアイデアが光る。



色にはそれぞれ異なるキャラクター(性質)が。

小黒 照平 さん

生物生産学部 3年
留学期間:フィリピン 2週間



発展途上国の実情を肌で感じた2週間。

「アフリカの食糧難や貧困問題に貢献したい」。将来の目標に対し、起こすべきアクションを知るためにこのプログラムに参加。専門分野を学べるだけでなく、英語への苦手意識の改善に役立てられるのも大きな魅力でした。フィリピンでは都会だけでなく農村地のココナッツファームも訪ねました。現地の方はとても陽気で、いつも笑顔で接してくれたことが印象的でした。また、その国の文化やルールに合わせて生活できた経験は、自信にもつながり、度胸や視野の広さを身に付けることができるのだと思います。今回は短期での参加だったため、次回は長期プログラムに挑戦したいと思っています。



講義の一環で現地の市場を見学しまし
た。色鮮やかな農作物が並んでいます。



ココナッツ農場にて。この国の問題を
肌で感じました。



活用した留学プログラム 海外生物生産学演習

フィリピンの州立大学で熱帯地域での農
業や畜産・水産について学ぶプログラム
です。現地の農家や市場を見学できます。
専門分野について深く学べるだけでな
く、英語力を磨けるのが魅力です。



広大から世界へ。世界から広大へ。
TO THE WORLD
世界へのまなざし



活用した留学プログラム

JICAの「アフリカの若者の
ための産業人材育成 (ABE)
イニシアティブ」

5年間で1000人のアフリカの若者に対
し、日本の大学や大学院での教育と日
本企業でのインターンシップの機会を
提供するプログラム。

日本の好きどころ

自然がとても美しく、周囲の人々がいつ
も優しく明るく接してくれます。一緒にい
ると心が安らぎますね。



MORAI Mamotjoka Joyce さん

モライ マモジョカ ジョイス

大学院国際協力研究科 博士課程前期 2年
出身国:レソト 留学期間:2年6ヵ月



多様な環境で教員として成長し、 母国の子どもたちに、より良い教育を届けたい。

母国では特別支援学校の教員として勤務。耳が不自由な生徒への
教育を学ぶために留学を決意しました。教員をしていた私にとって、
世界をより良くするために不可欠な「平和」と「教育」について、さま
ざまな国の人たちと学べる広島大学の環境は、とても魅力的でし
た。現在は特別支援教育とインクルーシブ教育*について研究中。
また、日本語と併せて日本の手話も勉強しており、特別支援学校の
生徒との交流に役立っています。観光旅行や異文化交流なども含
め、日本での経験はすべて私の成長の糧となっています。帰国後は
留学で学んだことを基に、母国の教育向上に貢献したいです。

※多様な全ての子どもの教育的ニーズに応じた学習機会を提供する教育



特別支援学校を訪問し、耳の不自由
な生徒たちと手話で交流しました。



JICAの旅行で訪れた厳島神社の手
水舎。日本の作法で手を清めました。

学生レポ! 私 も 広大です

世界に誇れる「まち」の実現に向けて 市長を支え、多くの人との橋渡しを行う

政経学部時代の成績はぼちぼち。学食に行くことを目指して通っていましたから(笑)。学生の頃から地元の広島で就職したいと考えており、在籍していた政経学部の学びも生かせる地方公務員を目指すようになりました。広島市役所に入職したのは1980年。ちょうど広島市が政令指定都市となり、新しい組織ができた時です。

なかでも思い出深いのは広島新交通1号線、通称アストラムラインと呼ばれる新交通システムの建設事業です。「3カ月以内に国土交通省から免許を取得すること」といった目標だけが与えられ、その他の情報やノウハウは何もない状態からスタート。おかげで自分でゼロから調べ、考え、仕事を組み立てる力が鍛えられました。開通後に地域住民の方から、喜びの声が届いた時はこの仕事をして本当に良かったと思いましたね。また、都市整備局時代に手がけた宇品地区のにぎわい創出事業は私自身が発案したもので、自分で考え、行動すれば仕事はこれほど面白いのかと実感しました。来年広島で開催の全国都市緑化フェアの準備にも力を入れています。

現在は副市長として、局長たちから相談を受けて指示を出したり、経済界や議員の方々とお会いして市政についてご意見を伺ったり、市の方針を説明して相互理解を深める活動も行っています。副市長の仕事を一言でまとめるなら、市長を支えること。松井一實(かずみ)市長の掲げるビジョン、「世界に誇れる『まち』広島」の実現に向けて、その想いを部下をはじめとする多くの方々に伝えることを最も大事にしています。

市民の笑顔や幸せを目標にして 多様なことに挑戦できる

広島市役所には現在、部長・局長以上の幹部職が約170人在籍していますが、そのうち約80人が広島大学出身者です。また、市役所の研究会や審議会メンバーには必ず広島大学の先生がいらっしゃいますし、専門分野のアドバイスを求めて研究室に伺うことも多く、広島市役所と広島大学との関わりは深いですね。市のウェブサイトのトップページに広大のリンクが掲載されていますよ。

これから公務員を目指す学生さんには、ぜひ自分の意見を積極的に伝える力を磨き、組織をより活性化させて欲しいと思っています。そして学生のうちにできるだけ勉強して、人生や仕事の可能性を広げてください。

公務員は、より直接的に、人々に役立つ事業ができる仕事です。特に市役所は市民との距離が近く、目の前の人の笑顔で仕事の成果が実感できます。また、公務員は総合会社と言えるほど幅広い仕事の機会があるので、多様なことに挑戦したい人にもお勧めです。

広島大学を卒業・修了後、各業界で活躍されているOB・OGの方々に学生がインタビュー。現在のお仕事と大学時代を語っていただきました。

岡村 清治 さん 広島市副市長

おかむら・せいじ/広島大学政経学部法律政治学科(現法学部)1980年度卒業。
1980年に広島市役所に入職。市内8つの区役所を統括する課に配属され、区民文化センターを設置する業務を2年間担当。その後は財政局、道路交通局、都市整備局と2、3年おきに異動しながら交通政策や都市開発などを担当。都市整備局次長や財政局長を歴任し、企画総務局長を経て2017年4月より副市長を務める。



Report 学生広報ディレクター

岡村副市長は風通しの良い職場を大切にされる気さくな方でした。学生時代には自分の専攻だけにこだわらず、興味のある分野の勉強をされてきたそうです。私も学生という時間を、好奇心の赴くまま、学びに貪欲に過ごしたいと思いました。

法学部1年 山本 千尋さん



おおうちだ・みさき/広島大学理学部2004年度卒業、大学院理学研究科博士課程前期2006年度修了、博士課程後期2010年度単位修得退学。2012年度、博士(理学)広島大学。2010年に渡米し、ワシントン大学で人類学修士号を取得する傍ら、科学イラストの専門コースを受講。米スミソニアン国立自然史博物館などで経験を積み、2016年より現職。古生物を含むさまざまな生物の正確かつ色鮮やかなイラストに加え、生命科学や医学の分野でも作品を制作している。休日は鴨川で鳥の絵を描く。



大内田 美沙紀 さん 科学イラストレーター

(京都大学 iPS細胞研究所)



Report 学生広報ディレクター

取材前は、科学イラストレーターとはどんな仕事なのかあまり想像がつかなかったのですが、一般の人には難しく理解しづらい科学を、誰にでも分かるイラストという形にして届ける、とても素敵な仕事だと分かりました。また、取材を通して、新しいことに果敢に挑戦する大切さを学べました。

教育学部3年 堀 里実さん



科学イラストを通じて、専門知識を 一般の人にも分かりやすく伝える

広島大学では理学部に在籍し、素粒子物理学を研究していました。2010年には大学院を単位修得退学してワシントン大学へ留学。現地で人類学の研究に打ち込んでいましたが、講義中のある出来事が、私の人生を大きく変えました。ノートに描いていた人体図を目にした指導教員から「科学イラストレーターの道へ進んでみてはどうか」と勧められたのです。

科学イラストレーターとは、「科学的な知識を一般の人にも分かるように描いた説明図」を手掛ける人のこと。それまでも学部生の授業のアシスタントをしていた際は、絵で説明することを得意としていました。また研究内容をより分かりやすく伝えたいという思いもあったため、教員の一言をきっかけに本格的に科学イラストレーターを目指すようになりました。

専門の養成講座に通い腕を磨いた後、コーネル大学鳥類学研究所やスミソニアン国立自然史博物館で経験を積み、2016年に京都大学iPS細胞研究所へ。科学イラストを描く上で、最も大切なのは正確さ。あくまでも「科学」を描くので、どんなに美しくても科学的に嘘があれば描き直しになってしまいます。生物の構造に関する細かな知識など、事前の入念なリサーチは必要不可欠です。また資料的なイラストだけでなく、広報誌の挿絵などデザイン性の高いものを手掛けることも。ゴッホのパロディを交えて論文の内容を表現した絵が、アメリカの科学誌『セル』の表紙に選ばれるという貴重な経験もできました。正確性とデザイン性のバランスをどう両立するかは依頼によって異なるため、依頼主とのコミュニケーションが大切です。相手のイメージや細かなニュアンスを拾い上げるために、直接会って言葉でやり取りするように心がけています。絵で伝えることが得意でこの道を選びましたが、今では絵と言葉、両方を駆使して仕事に向き合っています。

柔道に打ち込んだ4年間で、 その後の挑戦を支えてくれた

中学・高校と女子校で美術部に所属していましたが、広島大学での4年間は、それまでとは打って変わって柔道部での活動に明け暮れた日々でした。「まったく違う環境に身を投じたい」と思ったのが入部のきっかけです。柔道部では、厳しい練習を続ける忍耐力や礼儀など、多くのことを学びました。留学や科学イラストレーターなど、これまで多くのことに挑戦し続けられたのも、柔道部での経験があったからこそだと思います。広島大学で学んでいる後輩の皆さんにも、大学生活のなかで何か一つでも良いので真剣に打ち込む経験をしてもらえればと思います。

キャンパスでできる国際交流

約2,000人の留学生が在籍する広島大学には、国際交流できる場がたくさんあります。



International Luncheon



ランチを食べながら気軽に英会話。授業や生活のこと、文化の違いなど、話題はつきません。霞キャンパスでは、医療の話で盛り上がることも。



異文化交流会



イスラム教のラマダン(断食月)が明けた頃に開催する、年1回のグルメイベント。ハラル認証(イスラム教の戒律にのっとり調理・製造された商品であると認証するもの)を取得した、お好み焼きソースを使用したお好み焼きやもみじ饅頭が振る舞われます。



季節のイベント



お花見や正月遊びなど、季節を楽しむイベントを随時開催。開催案内は「広島大学 学生情報の森もみじ」で発信しています。



英語村



会話はすべて英語のみ! 工学部の「おもしろラボ」で、週に1回開催します。ボードゲームやトリビアクイズ、映画観賞やクリスマス会など、楽しいアクティビティが満載。



国際交流サークル



週に1、2回、講義室で英会話や英語ゲームを行います。ゆかたまつりや大学祭、地域のお祭りなどに行くことも。



週に1回、工学部の「おもしろラボ」などで開催。留学生に日本語を教えたり、一緒に日本の文化を体験したり。広島弁で発表を行うことも!



他にもイベントや
取り組みが盛りだくさん!



広島大学の
おすすめスポット
経済学部棟の
芝生

冠野 雅人さん
工学部 第四類 4年

撮影を通してさまざまな出会いが刺激に

本格的に撮影を始めたのは大学3年生の時。自分のスキルや経験を仕事にしたいと思い、出張撮影サービス会社に登録したことがきっかけでした。ウエディングフォトなどを撮影するほか、広島県内の建築会社の撮影業務などを通して腕を磨いています。さらに大学では東広島の魅力を広める学生団体「mahoLabo.」にも参加し、撮影を担当。活動を通じて知り合った酒蔵の方とのお縁もあって、2019年酒まつりの公式ポスターを撮影しました。モデルはEXILEの橘ケンチさん。「シック」なイメージを表現できるように、レンズ選びから編集までこだわり抜きました。ポスター撮影で強く感じたことは、町を活気づけるスターの影響力。自分も誰かを元気にできるような大人を目指していきたいと思っています。

愛用アイテム: カメラバッグ

どんな撮影現場に行くときもこのバッグと一緒に。普段いる場所から一歩外に飛び出し、さまざまな価値観の人と話をすることもオススメです。



がんばる学生の姿をお届け

HIRO-DAI HEROES



広島大学の
おすすめスポット
中央図書館

播磨 チヅ子さん
大学院総合科学研究科 博士課程後期 3年

挑戦する心を大切に、フランス文学に没頭

広島大学の教育学部を卒業後、40年近く教員として勤め、小学校校長も経験しました。定年退職後、新しいことに挑戦したいとの思いで、中高年対象の「AO入試フェニックス方式」を利用し、2009年に文学部に再入学。フランス文学を専攻しました。若い世代の学生と肩を並べて学べる環境が大きな魅力でした。ある先生から言われた「播磨さんがいると若い学生がより一生懸命勉強する」という言葉で、自分が居ることが学生の励みになっていると実感することができました。現在は総合科学研究科博士課程後期に在籍し、新たにフランスの新聞の1コマ漫画(カリカチュール)の政治風刺を研究。健康第一、かつ没頭できるものを見つけることが、満足感のある学生生活の秘訣だと思っています。

愛用アイテム: 電子辞書

キーの文字がすり減り、読めなくなるくらい使い込んでいます。フランス語の大辞典を頻繁に活用しています。



広大の
イメージって？

HU-style vol.11

受験勉強の
コツは？

学生生活が
気になる！

オープンキャンパスで

200人に聞きました!!

オープンキャンパス初日の8月20日、学生広報ディレクターが高校生などにインタビュー。
彼らが抱くイメージ、疑問に現役広大生が回答します。

広大イメージ調査

高校生などが広島大学に対して
持っているイメージを調査。調査結果について、
広大生からのコメントをもらいました。

企画・取材：学生広報ディレクター
山下 裕介さん 木下 紗良さん



Q.1 広島大学のイメージは？

- 1位 **キャンパスが広い！**
- 2位 **毎日の生活が楽しそう！**
- 3位 **勉強の環境が整っている！**

PICK UP

PICK UP
広大生のComment

大学生活を楽しむコツは、「夢中になれるものを見つけること」「新しいことに挑戦すること」だと思います。またスケジュールを立てるときに、無駄な時間を作らないようにすることで、毎日が充実するように努めています！

教育学部 4年 大原 愛莉さん

Q.2 広大生のイメージは？

- 1位 **頭が良い！**
- 2位 **真面目！**
- 3位 **かわいい子が多い！**

PICK UP

PICK UP
広大生のComment

同性の私から見て、キャンパスを歩いていて「かわいい、きれいだな」と思う学生は多いですね。素のかわいさに加え、大学生になりお金に少し余裕ができるため、コスメや服など、お洒落に気を使う人が増えている印象です。

教育学部 4年 川口 莉奈さん

広大生のイメージ! 他にもこんな意見がありました!

もみじ饅頭が好きそう

宮島へ観光に行って食べたりお土産に買ったりしますね。もみじ饅頭にも、お店によっていろいろ種類があるうえ、味も多様なので選ぶときはいつも迷ってしまいます。



カーブ熱がすごい!

カーブの試合やニュースが毎日のように放送され、広島全体でカーブを応援している印象です。そのためカーブを好きになる学生も多いですが、逆にその熱量に圧倒されてしまう人もいます。



インタビューの内訳

ご協力いただいた
オープンキャンパス
参加者

・総数：212人(男性83人、女性124人、無回答5人)
・参加者内訳(1年109人、2年40人、3年15人、
既卒2人、保護者28人、教員13人、無回答5人)
・出身(広島県148人=約70%。最北端は静岡、最南端は鹿児島。
中四国ほぼすべての県に加え関西からも)
・オープンキャンパスを何で知りましたか?《複数回答可》
(高校154人、広大HP41人、受験雑誌19人)

協力してくれた
広大生

・性別：男性105人 女性92人 無回答3人
・学年：1年34人 2年30人 3年45人 4年64人
大学院26人 無回答1人
・学部：総科12人 文9人 教育45人 法50人 経8人
理24人 医3人 歯1人 薬4人 工6人
生5人 情科6人 大学院26人 無回答1人

教えて!広大生

高校生が気になる受験勉強の仕方や
実際の学生生活について
現役の広大生に尋ねました。

受験勉強編 Q&A

勉強のために心掛けていたことは？

生活サイクルを整えることです。起床・就寝時間を固定し、睡眠時間を確保していました。また勉強は朝型。頭が冴えた状態で効率的に勉強することを心掛けていました。

気分転換にしていたことは？

散歩をすること。音楽を聴きながら、体を動かすことでリフレッシュできます!

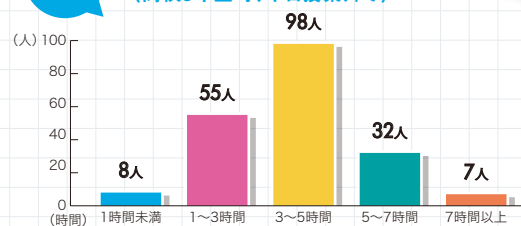
モチベーションの保ち方は？

目標を常に意識し続けることです。僕は弁護士になるという目標を常に意識していました。受験生の皆さんも、将来の目標の実現を胸に受験勉強を頑張ってください。

法学部 2年 富本 尚吾さん

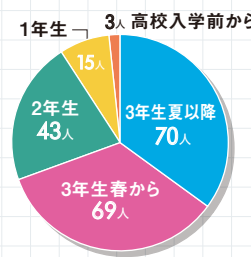


Q.1 1日の平均勉強時間は? (高校3年生時、平日授業外)



Q.2 いつから受験勉強を始めたの?

多くの人が本格的に勉強を始めたのは部活動引退後の3年生からです。しかし定期テスト対策など普段の勉強からコツコツ積み重ねている人も多く見受けられます。(学生広報ディレクター)



大学生活編 Q&A

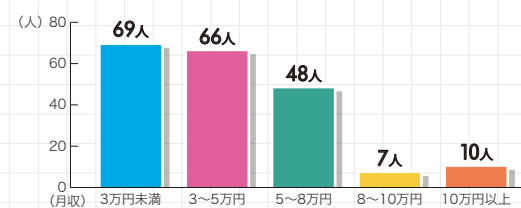
サークルや部活はどうやって選んだの?

私は今応援団でカメラマンとして活動中。サークル・部活を選ぶときには実際に加入する前に何度か足を運び、自分に合っているか、良い関係が築けそうかなどを確認することが大切です。また、将来の自分に役立つもの、という観点で選ぶのも良いと思います。アルバイト選びではネットや知人などを通じた情報収集が必須。そして家からの距離や、時給など、自分が最重要視するものを決めて選びましょう。私は小さいころからの憧れだったマツダスタジアムで、売り子のバイトをしています。

理学部 3年 小野 響子さん

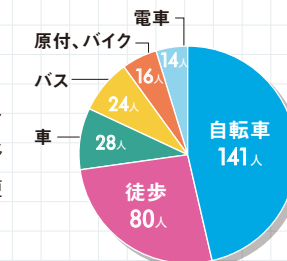


Q.3 アルバイトでの平均月収は?



Q.4 大学までの通学手段は? (複数選択可)

通学には自転車を利用する人が多いです。また広いキャンパス内を移動するときにも、自転車があると便利です。(学生広報ディレクター)



角筆研究の第一人者、 小林芳規名誉教授が 文化功労者の顕彰を受けました

角筆研究の第一人者として知られる広島大学的小林芳規名誉教授が、2019年度の文化功労者に選ばれ、11月5日、東京都内で顕彰式がありました。

小林名誉教授は1961年に漢書の写本から角筆(先端をとがらせて紙をくぼませる筆記具)による書き込みを初めて発見。国語史研究に画期的な成果をもたらしました。また、半世紀以上にわたり日本全国および中国・韓国で数多くの角筆文献を掘り起こされました。1991年には角筆文献の発見と研究で恩賜賞・日本学士院賞を受賞されています。

小林名誉教授は「私のささやかな研究が認められ、高く評価されて、大変うれしく光栄に存じます」と喜びを語っています。



Nature Biotechnology誌 「ゲノム編集の最多論文発表者15人」 本学研究者が2位と5位にランクイン

10月2日に公開されたNature Biotechnology誌の記事で「ゲノム編集に関する論文を最も多く発表した世界の研究者15人」のランキングが紹介され、広島大学大学院統合生命科学研究科の山本卓教授(2位)と同研究科の佐久間哲史講師(5位)がランクインしました。

1位のFeng Zhang氏と3位のJennifer A. Doudna氏は、ガードナー国際賞などを受賞し、ノーベル賞候補と目されています。広島大学の2人も世界トップクラスの研究者に伍して高い評価を受けました。



山本 卓 教授



佐久間 哲史 講師

テレビ、ラジオの レギュラーコーナーが1周年を迎える

2018年の秋から始まった、広島FM『大窪シゲキの9ラジ』(月～木 20:00～22:00)の「広島大学Radio Campus」コーナーと、広島ホームテレビ『みみよりライブ5up!』(月～金 16:45～)の中継コーナーが1周年を迎えました。今後も、学生や教職員などが出演して盛り上げます。



スタジオでラジオ収録

簡便かつ安価な 雌雄産み分け方法を開発

大学院統合生命科学研究科の島田昌之教授らの研究グループは、マウスから、X染色体をもつ精子(X精子)にのみ発現する遺伝子を発見しました。さらに、その遺伝子を薬剤で活性化することで、Y染色体をもつ精子(Y精子)との簡便な分離方法を開発し、ウシとブタの雌雄産み分けに成功しました。



東京で記者説明を行う島田昌之教授(左)、梅原崇助教(右)

防災・減災 研究センター1周年 記念オープン ディスカッションを開催

9月30日、東広島キャンパスで、防災・減災研究センターの設置1周年を記念して、オープンディスカッション「『相乗型豪雨災害』住民・学者・行政が振り返る」を開催しました。「都市計画と防災」、「自助・共助のための防災教育」、「早期避難と避難所の課題」という3つのテーマについて研究者、住民代表、行政それぞれの立場から議論しました。



研究者、住民代表、行政関係者らによるディスカッション

広島大学循環バス 実証実験を開始

東広島キャンパス周辺の交通問題解決と自動運転社会の実現に向け、東広島市と連携して、キャンパスと東広島駅などを結びます。運行期間は2019年10月から2020年1月までと、2020年4月から7月まで(平日のみ)。乗車定員は13人で運賃は無料。 詳細はこちら▶



広島東洋カープで活躍した エルドレッド氏が 大学病院小児病棟を訪問

9月15日、元広島東洋カープ選手のエルドレッド氏が、同日開催のマツダスタジアムでの引退セレモニー出席に先立って、広島大学病院の小児病棟を訪ねました。

エルドレッド氏は「多くの子どもたちの頑張る姿を見て、力を与えてもらいました。笑顔に勇気づけられ、楽しい時間を過ごしました。気持ちを前向きにもっていけば、必ず道は開けます。病気との闘いに負けないでほしい」と激励しました。



エルドレッド氏を囲んで記念撮影

脳科学オリンピック2020 中国・四国地区で初の予選大会を実施

8月9日、中国・四国地区で初の脳科学オリンピック予選大会を実施しました。日本脳科学関連学会連合が主催する脳科学オリンピックは、脳科学に関する知識を問う、中高生のための世界大会です。中高生が脳科学に親しみ、将来的にこころや脳の病気などの原因解明や新しい治療に向けて神経科学の道に進むきっかけの一つとなることを目的として毎年開催されています。

例年25カ国以上の国・地域の中高生が参加し、各国の予選を勝ち抜いた代表が本選(2020年8月にワシントンDCで開催)に派遣されます。



脳科学オリンピックの様子

ホームカミングデー、大学祭を開催

11月2日・3日に東広島キャンパスで第13回広島大学ホームカミングデー・第68回大学祭、11月9日・10日に霞キャンパスでホームカミングデー・第52回霞祭、11月16日に東千田キャンパスでホームカミングデーを開催しました。

ホームカミングデーでは著名人らの講演などが行われ、大学祭や霞祭では、学生主催の模擬店や、これまでの課外活動の発表の場などが設けられ盛り上がりしました。

学生のための多目的施設 「福山通運 小丸賑わいパビリオン」が完成

福山通運株式会社および公益財団法人渋谷育英会からの寄贈により、学生のための新施設が東広島キャンパスに完成し、10月31日に引渡式を挙行了しました。名称は「福山通運 小丸賑わいパビリオン」。学生の起業活動や集会、自習など多目的に使用できる施設です。オタフクソース株式会社の支援による飲食可能なフリースペースや各種ショップの出店も予定されています。学生同士の連携や、新しい企画の誕生など、学生の自発的な活動が生まれる場となることが期待されます。



大学院工学研究科の岡河貢特任教授らによる設計。施工はヤマホールディングス株式会社

広島大学のオリジナルデザイン 日本酒「広大」販売開始

日本三大酒処の一つ、東広島市の「西条」にある酒蔵「賀茂泉酒造(株)」の協力により、広島大学オリジナルデザインの日本酒「広大」が、1月から広島大学生協で販売開始予定です。販売されるのは、720mlの純米大吟醸と1,800mlの純米酒の2種。胴ラベルデザインは学内公募し、大学院教育学研究科の重政寛客員准教授の作品を選定。720ml瓶の銘柄名「広大」は越智学長が揮毫しました。留学生や海外の来客への土産など、国内外へ広島大学をアピールするものとして期待されます。



ラベルには、広島大学の学章と、シンボルのフェニックスタワーをデザイン。左が純米大吟醸(720ml・2,800円)、右が純米酒(1,800ml・1,950円)。※共に予定販売価格・税別

2020年1月より 広島大学キャンパス内を 全面禁煙へ

本学へお越しの皆さまには、ご理解とご協力をお願いいたします。



「流れのままに」と題して講演する片岡鶴太郎氏

つながる! ひろがる! ひろしまの輪

広島大学と地域の皆さんの間につながりが生まれ、広がる中で、新たな発見がきっとあるはず。
「ひろしまの輪」では、地域の皆さんと広島大学と一緒に取り組む活動や
さまざまなイベント情報をお届けします。

地域・教員・学生がチームで、活性化に取り組む

地域の元気応援プロジェクト

広島大学の学術的な蓄積や学生の力を活用し、地域課題の解決や地域の活性化を目指す「地域の元気応援プロジェクト」が2019年度からスタートしました。8月のマッチングイベントでは、地域の方が学生・教員に向け自分たちの取り組みについてプレゼンテーション。課題意識を共有し、地域・教員・学生による協働チームが結成されました。今回採択されたプロジェクトは、三段峡の自然や伝統文化を外国人観光客に伝える「Sandakyo Nature Trail Project ～三段峡自然散策道プロジェクト」や、新たな地域資源の発掘・発信を目的とした「音戸の瀬戸周辺地域の散策マップ作成とマップを活用にした地域づくり提案」などの8つです。地域の方には街の活性化というメリットがあり、教員には研究成果を通じた地域貢献の場、学生には学びと成長の場となるこの事業。地域の賑わいや、人々の元気につながる地域連携プラットフォームを目標として活動を展開していきます。

Information

問い合わせ先: 広島大学 学術・社会連携企画グループ
TEL: 082-424-5871
E-mail: sangaku-renkei@office.hiroshima-u.ac.jp

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/news/52427>



マッチングイベントの様子

子どもの心と学びを学生がサポート

学校心理教育支援室「にこにこルーム」(大学院教育学研究科 附属教育実践総合センター)



「にこにこルーム」では、毎週水曜日(学習相談)と木曜日(臨床相談)に初等教育教員養成コースの学生が中心となって、地域の子どもの心と学びを支援しています。学習相談では、主に小学4年生から6年生を対象に算数の文章題や国語の読解・作文など、学習の悩みに即してサポート。子どもたちが同じつまづきを繰り返さないよう、一人一人の「学び方」を一緒に見直していきます。臨床相談では、母子自立支援施設や情緒障害児短期治療施設などに学生を派遣。また発達障害の傾向がある児童生徒に、コミュニケーションスキルを学ぶ集団トレーニングなどを行います。「小規模な活動のため、希望者を全て受け入れられないという悩みもあります。しかし、可能な限りニーズに応えられる環境を整備したい」。にこにこルームを主宰する大学院教育学研究科の深谷達史准教授は力を込めます。

Information

活動メンバー: 教員3人、学生65人、職員1人
＜相談申し込み先＞
電話: 082-424-3469 (平日9時～13時、14時～16時受付)
E-mail: cserd@hiroshima-u.ac.jp ※必ず「件名」を入れてください。

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/cserd/nikoniko/>



Reader's View

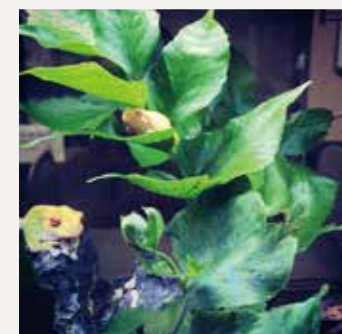
HU photos Instagramで#広島大学の付いた投稿からお届けします。



2019.10.6

#周防大島 #SDT #スキューバ
#スキューバダイビング

投稿者: 広島大学 SDT さん



2019.10.9

#カエル #両生類 #frog #amphibian
#両生類研究センター

投稿者: 広島大学両生類研究センター さん

HU photos

広島大学にまつわる写真を#広島大学をつけてInstagramに投稿してください。学生生活のワンシーンや何気ない風景など、テーマは何でもOK! 素敵な写真をお待ちしています。

HU ism

広島大学にまつわるちょっとした逸話やエピソードをアンケートにて募集します。あの頃の懐かしい思い出話や誰かに教えたいくなる広島大学の秘密を教えてください。

投稿
募集中!

投稿はこちら



投稿が掲載された方には
広大オフィシャルトートバッグを
プレゼント!



WEBアンケートにご協力ください

読者の皆さまからのご意見、ご要望、情報提供をお待ちしております。いただいたアンケート内容は、今後の誌面づくりに活用させていただきます。また、お寄せいただいたメッセージは、次号以降の本誌の中でご紹介させていただく場合があります。

WEBアンケートはこちら



HU-plus 検索

読者プレゼント

アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で合計9名様にプレゼント!!
※応募締切: 2020年3月31日必着 厳正な抽選の上、商品の発送をもって当選の発表とさせていただきます。

- A 中公新書ラクレ 『「地方国立大学」の時代 2020年に何が起ころのか』
- B 広島エフエム 「防災ラジオ&9ジラジグッズ」
- C 広島市安佐動物公園 「アニマル坊やフェイスタオル(大集合)」



3名様



1名様



5名様

広島大学
広島地域連携推進局

せとこまち

広島大学・尾道市と
弊社にしき堂が
共同開発した
広島銘菓「せとこまち」を
ご賞味ください。

にしき堂

本店/広島市東区光町1丁目13-23 ☎(082)262-3131 (代)
https://www.nisikido.co.jp Eメール:info@nisikido.net
TEL ☎0120-979-161 (8:00~18:00) FAX ☎0120-963-161

広島お好み焼、焼きませんか。
お好み焼体験スタジオ

OKOSTA

本格的な鉄板でお好み焼づくりを体験!
家族や友人と思い出の1枚を。

JR広島駅
直結だから
便利!

otafuku

予約など詳細はWEBをチェック!

オコスタ

中国産業株式会社は広島大学と
包括的連携協力協定を締結しています

公認 広島県公安委員会指定

東広島自動車学校

東広島市西条町郷曾1127-22
TEL.082-425-1110
http://higashi-ds.com

公認 広島県公安委員会指定

賀茂自動車学校

東広島市西条中央3-7-13
TEL.082-422-1100
http://www.kamo-ds.com/

